

事業所名 認定特定非営利活動法人ゆいの会  
放課後等デイサービス ゆいっ子

公表日 2025年 1月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1	その日の子どもの状態により、別室を使用している。 定員という基準内なのかもしれないし、限られた空間のなかでうまく活用できていると思うが、利用児の様子を見ていると、もう少し本当は別室やひろい空間が必要なのではないかと思う。 仕切りやカーテンを活用する等、視覚的な工夫を重ねていきたい。	支援室内のおもちゃ・テーブルの配置を整理するなどの調整を行い、必要に応じて充足した空間を確保するように改善いたします。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1		スタッフ間の連携強化、研修等によるスタッフのスキルアップにより、支援のさらなる充実をはかります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	0	生活上の上での導線に配慮し、無駄のないようになっている。 子どもにわかりやすい環境づくりはもう少しさらに改善していけたらいいのかなと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	必要に応じて施設内のホールをかしてもらっているが、個室がほとんどないため対応できないこともあると思う。その場合は、ホールや外を活用しながら対応している。	他事業部と連携の上、施設内に併設されている他事業部が使用する部屋を活用することで、個別対応等の別対応を行ってまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	13	2	スタッフ間のミーティングで、共通認識を高めたり、子どもの個別情報ファイルは、管理された上自由に閲覧できる状況になっている。	各スタッフへの情報共有、情報収集が円滑に行える仕組みやおペレーションの改善施策の検討を進めております。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	今回初めて行うため、今後いただいた意見をもとに改善していけるようにしていけたらと思う。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	毎日の記録	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	10		現場や利用児の状況に応じて、必要な第三者による評価ならびに助言を仰ぐ形にて運営しております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	1	会議の時に研修や必要な情報共有をしてもらっているので、また今後できたら研修にじっくり時間をとってもらえる時があれば、参加していきたいと思っております。	各種症状、虐待防止、防災といった内容をテーマとした研修を定期的の実施中。併せて研修の形式や頻度についても改善を検討しております。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	1		利用児ごとにモニタリング担当スタッフを割り振り、定期的な情報共有の場にて振り返りを実施することで、個別支援計画や場の運営に対する思考を深めることに努めております。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1		気になった様子、変化の兆候などについて自由に報告・共有できるフォーム、対面での相談、全体会議といったコミュニケーション手段を通して、恒常的に利用児への理解を深めるよう努めております。
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	2		常勤スタッフ、非常勤スタッフを交えたチームによる課題提起およびプログラム立案が可能となる方法を模索しております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	0		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0		
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	1	直接は難しいため、気になった時は個人的に連絡をしたり、記録に記入していますが、もしできたらその日のうちに報告しあえるような方法が今後見つかるといいなと思っております。	項目15と同様の報告用フォーム、対面での個別相談を通して、終業時間が多様なスタッフ間でも恒常的に振り返りや相談ができる体制にて運営中。今後は日々の振り返りや情報共有のオペレーション化を模索しております。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0		

関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	15	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	1		環境面にて、おもちゃの配置を工夫して自由時間における遊びを選択する行動を促す環境をつくりながら運営中、SSTを定期的に実施。今後も利用児が主体的に自己決定するアプローチを模索しております。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	15	0		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	0		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	15	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	1		関係各所とやり取りを児童発達管理責任者が担い、各所にて発生した情報をスタッフ間にて共有する形にて情報共有・認識共有を行っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	14	1	まだ対象の児童がいいため、今後必要に応じて情報提供や対応をしていけたらと思います	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	14	1		近隣の専門家へ支援に関する相談を随時行う。支援の検討に際して相談支援員からの助言ををいただく、といったことを行っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	9		今後の施策として近隣の児童館などの他施設さんと共同による交流企画を検討中。現在は、実際に交流を実現するための準備段階として、公園遊び等を通して施設外の子どもたちと場を共有することに慣れるための施策を実施しております。
保護者への説明等	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	15	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1		現在は、定期的な面談を行うとともに、ご家族様からの相談に応じて、遊びや個別支援とは別途に支援を実施しております。並行して、家族単位での支援企画の実現に向けた施策についても検討しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	1		保護者様を対象とした交流の場の実現に向けて検討中です。 きょうだい児を対象とした支援企画として、支援企画「ゆいドリーム」を毎月定期開催しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	2	今後検討していけたらいいのかなと思います	ホームページの充実化、SNSアカウントの発行・運用することで情報発信を強化するように検討を進めております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	1		高齢者向けサロン、さそり織り、音楽活動などの施設内の地サービスを利用する方々との交流の場を設けております。また、施設全体の風土として、各職員と各利用児が自然とコミュニケーションできるような風土にて運営しております。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	0		

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	0		